

# 国 語

2024年2月10日（土）

一般入学試験

## <注意事項>

1. 受験票は机の右上に受験番号が隠れないように置くこと。
2. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
3. 試験中は机の中に何も入れず、机の上には鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム以外の物は出さないこと。
4. 試験中に問題冊子の印刷不備等に気づいた場合は、手を挙げて試験監督に知らせること。
5. 試験中に体調が悪くなった場合は、遠慮せずに早めに試験監督に知らせること。
6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置くこと。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。



文華女子高等学校

第一問 ①から⑳の空欄にあてはまるものを「」の中から選び記号で書きなさい。

- ① 大多数の  を得る。 「ア 指示 イ 支持 ウ 師事 エ 私事」
- ② 交通を  する。 「ア 氣勢 イ 既成 ウ 帰省 エ 規制」
- ③ 学問を  める。 「ア 収 イ 納 ウ 修 エ 治」
- ④ 兄は今年大学を卒業し、職に  く。 「ア 着 イ 突 ウ 付 エ 就」
- ⑤ 機体が  する。 「ア 降下 イ 硬化 ウ 効果 エ 硬貨」
- ⑥  人物を目撃する。 「ア 不振 イ 不審 ウ 腐心 エ 不信」
- ⑦ 「莊嚴」の読み方は  である。 「ア しようげん イ しょうごん ウ そうげん エ そうごん」
- ⑧ 「著す」の読み方は  である。 「ア あらわす イ みあわす ウ いちじるす エ うつす」
- ⑨ 「独占」の類義語は  である。 「ア 解放 イ 独奏 ウ 専有 エ 専属」
- ⑩ 「唐突」の類義語は  である。 「ア 突入 イ 緩慢 ウ 奇襲 エ 不意」
- ⑪ 「困難」の対義語は  である。 「ア 冷静 イ 容易 ウ 高揚 エ 苦難」
- ⑫ 「臨時」の対義語は  である。 「ア 至急 イ 焦燥 ウ 通常 エ 平然」
- ⑬ 予算より出費が大きくなることを「」が「」が出る」という。 「ア 足 イ 目 ウ 手 エ 耳」
- ⑭ 言葉がなめらかで上手なことを「立て板に  」という。 「ア 石 イ 火 ウ 水 エ 土」

⑮ 「明日は  雨だろう。」

「ア もし

イ たとえ

ウ なぜ

エ きっと

」

⑯ 「来る」の尊敬語は  である。

「ア 伺う

イ 参る

ウ 来ます

エ いらっしゃる」

⑰ 「親切だ」と異なる品詞の語は  である。

「ア 穏やかに

イ 冷たい

ウ 便利な

エ 安全だ

」

⑱ 四月の異名は  である。

「ア 葉月

イ 文月

ウ 長月

エ 卯月

」

⑲ 宮廷生活での見聞や感想を中心に記した『枕草子』の作者は  である。

「ア 鴨長明

イ 清少納言

ウ 松尾芭蕉

エ 紫式部

」

⑳  とは、兼好法師の書いた自然や人生への考察をつづった随筆である。

「ア 古事記

イ 万葉集

ウ 方丈記

エ 徒然草

」

第二問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

現代都市に住まう私たちは今日、防犯カメラのまなざしに一度もつかまえられずに一日を過ごすことは可能だろうか。<sup>(※1)</sup>アメリカ同時多発テロ事件(二〇〇一年)や<sup>(※2)</sup>長崎男児誘拐殺人事件(二〇〇三年)あたりも後押しとなつて、防犯カメラは二〇〇〇年以降に急激な増加をみせている。その設置場所も、あくまで特定の(a)ハンカガイを中心にかぎられていたはずのものが、商店街、公園、通学路、学校、個人宅といった身近な生活空間へとみるみるうちに拡大されていき、その浸透<sup>しんとう</sup>の勢いたるやとどまる気配がない。

防犯カメラが本格的に設置されはじめた当初は、たとえば新宿歌舞伎町の設置の是非<sup>せひ</sup>をめぐる、それなりに激しい議論がなされていたのだが、人びとの意識は現在ずいぶんと変化し、その緊張感はかなり緩みつつある。朝日新聞(二〇一二年八月四日)のアンケートによれば、「街中に増える防犯カメラ」に対し、賛成(28%)、どちらかといえば賛成(58%)で9割近く、「防犯抑止のために日常を監視されること」に対しても、賛成(12%)、どちらかといえば賛成(47%)で6割近くの人びとがA的な回答をしているのだ。Xその理由としては「もしものことがあった時、役立つ」「街の安全を見守ってくれる」「犯罪を未然に防いでくれる」という回答が上位に挙げられる。

「安全・安心」な生活に向けた「セキュリティ」の確保を求めて、市民自らが防犯カメラの設置を強く要望しているのである。①そのためには、監視するのみならず、監視されることもそこまで厭<sup>いと</sup>わない。

<sup>(※3)</sup>ディストピア小説『1984』(G・オーウェル)でも描かれていたように、これまで監視といえば、ある強大な権力側が市民に対して一方的に高圧的に強いてくるイメージが一般的だったはずだが、現在はこのような構図では必ずしもとらえられない。市民が「自らすすんで監視し監視されよう」と防犯カメラを求めているのだから。これを

明かすように、近年の防犯カメラは、Y煙感知器のようにいあつかん威圧感の少ない形状のものが増えており、見守りカメラと名指しされることも多くなってきた。アンケートにも示されているように、「我が街を見守るためのカメラ」といった具合に位置づけられてきているようだ。

続いて、もう一つの「監視カメラ」であるケータイカメラの状況を確認していきたいが、まずは②これを「監視カメラ」に加えること自体に首を傾げる者もいるかもしれない。Z思い起こしてみれば、昨今テレビ番組でもよく目にするようになった、犯罪・事件の現場や犯人・不審者などをとらえた「視聴者提供」の映像の数々。これらの

(b)源の多くは、一般の人びとによってケータイカメラで撮られ、マス・メディアや捜査機関に送られたり、(※4) SNSに投稿されたものなのである。もちろん本人たちに監視という意識は低いだろうが、結果としては、捜査や犯人逮捕への貢献を含め、まさに防犯カメラを補うような、実に行き届いた監視のモバイル・メディアとしての(c)キノウを果たしてしまっているのだ。

とはいえ本章で中心に取り上げたいのは、このような監視の利用ではなく、親密な人間関係の間でなされる「相互監視」的な利用のほうである。SNSと組み合わせることでこの種の監視はますます活発に繰り広げられるようになってきた。行楽地やお店で風景や食べ物などと一緒に撮った映像を投稿しながら、「○○ちゃんと△△に行つて楽しかった」と仲間内で近況を逐一ちくいち報告し合い、またその投稿に対しても「いいね！」やコメントをこれまたこまめに逐一交換し合うのである。伝え合う内容が必ずしも重要なものではない。ちゃんとあなたを「見ているよ」と相手に温かく関心や配慮を向けていること——見守り！——を相互に確認し合うことが重要な意味をもっている。だからこそ、

③応答する側はたんに「いいね！」をクリックするだけでもこのやりとりは十分に完結してしまう。こういうやりとりで親しんでいる者にはここに何の不自然さも感じないだろうが、見方を変えれば、ここに強迫的で「気持ち悪い」監視的性格を読み取ることもできる。大事な友人や恋人が自分の知らぬ間に他の人と交流を深めていることを知っ

たときの、沸々と湧き出てくる嫉妬しつとや不安の感情、そしてこれに駆りたてられておこなうであろう追跡の（d）営み。——たとえばこのような状況を思い浮かべてみれば、監視としての性格がよりはっきりと（※5）顕在化けんざいかするだろう。

この見たい／見られたい欲望というのは、『自らすすんで監視し監視されたい』欲望のもう一つの重要な相なのである。（※6）松田美佐は、ネットワークが（e）ヒョウジュンの設定であるケータイカメラが相互監視の端末になる可能性を二〇〇〇年代初頭に指摘していたが、その後のSNSの発達と浸透によって、その（※7）ポテンシャルは大きく開花し、④今やケータイカメラは「ア」のための優れた「イ」の一つになったといえるだろう。

（角田隆一『ネットワークシティ 現代インフラの社会学』より）

- （※1） アメリカ同時多発テロ事件・・・ アメリカで発生した、航空機などを使用した大規模なテロ事件。
- （※2） 長崎男児誘拐殺人事件・・・ 長崎市で男児が誘拐され、殺害された事件。防犯カメラが加害者確保につながった。
- （※3） デイストピア小説・・・ ユートピア（理想郷）の正反対の社会を描く小説。『1984』は政府によってあらゆる行動が監視され、市民の思想が統制される世界を描いている。
- （※4） SNS・・・ ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。インターネットによって人間関係を構築できる場を提供するサービス。
- （※5） 顕在化けんざいか・・・ はっきり現れて存在すること。
- （※6） 松田美佐・・・ 日本の社会学者。メディア論やコミュニケーション論を専門とする。
- （※7） ポテンシャル・・・ 潜在的な力。可能性として持っている能力。

問一 二重傍線部 (a) (e) について、漢字は読み方をひらがなで書き、カタカナは漢字に直して書きなさい。

問二 空欄 X ( ) Z ( ) に入る言葉として適切なものを、それぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア しかし イ そして ウ あるいは エ まるで オ また

問三 傍線部①とあるが、具体的には何のためか。本文中の語句を用いて簡潔に答えなさい。

問四 傍線部②は具体的に何のことを指すか。選択肢から選び、記号で答えなさい。

ア 煙感知器 イ SNS ウ ケータイカメラ エ アンケート

問五 傍線部③とあるがここでの「いいね！」は相手にどのようなことを伝えるか。本文中から二十字以内で抜き出して答えなさい。

問六 傍線部④の空欄 ア ( ) イ ( ) に当てはまる言葉を本文中から抜き出して答えなさい。ただし、空欄 ア ( ) には漢字二字、空欄 イ ( ) には十字以内のカタカナが入ります。

問七 空欄 A ( ) には賛成の意味を表す言葉が入ります。当てはまる言葉を漢字二字で答えなさい。

問八 本文の内容として最も適切なものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 犯罪やテロリズムに対する社会の不安が、ケータイカメラによる相互監視へと人びとを駆り立てている。
- イ ケータイカメラは監視に適したメディアであるため、使い方には十分注意しなければならない。
- ウ ケータイカメラを巡る様相が、仲間内で関心を向けられたいという人びとの欲望を浮き彫りにしている。
- エ すすんで監視を求める欲望や仲間内での相互監視を求める欲望は、ケータイカメラの普及によって生み出された。

第三問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

空に吸い込まれてしまいたい。

佐々野 円華は灰色の堤防の上に腰を下ろし、空を見上げてそう思う。

ここに座って見つめる世界は、一面の空と海。二色の青の世界だ。

首が痛くなるほど顔を上に向け、空を眺める。太陽の色が、黄色を通り越して白く感じられるようになってくると、季節が春から夏に向かう準備を始めているのがわかる。

腰かけた堤防のコンクリートも、そういえば、先月よりは確実に熱い。制服のスカートのまま、円華は足を投げ出し、さつきからひとりで海を見ていた。

長崎県、五島列島。大小合わせて百四十あまりの島からなるこの地域の、中でも比較的大きいとされるこの島が、円華が生まれ育った場所だ。五島の観光業の拠点ともされていて、円華の家は曾祖父の代から旅館を営んでいる。目に眩しいほどの日差しに、①涙が滲む。

どうせ誰も見ていないだろうと、背中を堤防にぺったりつけて寝転び、真後ろを見ると、反転した景色の中で、今日も② 天主堂の建物が見えた。島の中でも、円華が特に好きな建物だ。

五島列島は、祈りの島と言われる。

江戸時代、キリスト教に対する弾圧が激しかった時期に、多くの人たちが五島に移り住み、いくつもの集落を作った。祈りを続けるために（a）センブク キリシタンとなって、痩せた土地や、切り立った土地を切り開いた。それらは小学生の頃に

「じぶんたちのまちの歴史」として授業で教えられるけれど、教えられなくても、このあたりの子だったら、みんな、知っている

る。

島には、天主堂や教会堂と呼ばれる教会がたくさんある。島の日差しに照らされた **A** 光のステンドグラスや、**B** 鉄塔や (※4) 鐘塔 しょうた の上にそびえる十字架は、幼い頃から見慣れた景色だ。

円華が特に好きなその天主堂は、そう大きな建物ではない。島には煉瓦造りや石造りのもつと風格のある大きな教会もたくさんあるし、ステンドグラスの (※5) 意匠 いしょう がものすごく凝っている天主堂や、ルルドと呼ばれるマリア像が立つ洞窟 どうくつ や泉がある教会の方が観光客にも人気がある。だけど、円華がその天主堂を好きな理由。それは、椿 つばき の形をしたステンドグラスが嵌 は まった丸窓があるからだ。

この堤防からは、振り返ると、その窓が見える。木造の建物の屋根からちよこんと突き出た尖塔 せんとう の真ん中に、**C** 木枠に五つの赤いガラスの花びらを広げた椿の姿がある。

椿は、五島の花だ。島内のあちこちに群生していて、ここの名産のひとつでもある。円華の家の旅館でも (b) 土産物売り場 みやげものばいりば には椿油を置いている。

円華の名前は、この椿の花にちなんで、父と母がつけた。ちようど、あの天主堂のステンドグラスを見て思いついたそう。木枠の中に納まる、円い花びらをふつくと広げた華のステンドグラス。椿。円い華。だから、私の名前は、円華。だけど、今日は、その天主堂の椿を見ている、心は (c) 慰められなかった なぐさめられなかつた。

昔から、円華はひとりになりたい時、考えたい時に、よくこの堤防に来る。

旅館の裏手にあるこの堤防の浜は、学校の通学路からも外れていて、普段は (d) メッタに同年代の子たちにも会わなかった。天主堂の椿も、海も空も、ここにいと全部自分が独り占めできる気持ちになれた。

しかし――。

「よう」

すぐ近くで声がして、Xが止まるかと思った。あわてて起き上がる。

そうしてXを呑んだ。日に焼けた、スポーツ刈りの男子が、円華のすぐ近くに立っていた。いつ来たのか、まったくわからなかった。

「何、してんの？」

彼が聞いた。高校名が胸元に入った体操着のシャツに、下は野球部の練習着の短パン。音楽を聴いていたのか、耳からイヤホンを外している。

「武藤くん……」  
むとう

堤防の上に投げ出していた足を急いで胸の方に引き寄せ、スカートを整える。

クラスメートの武藤 柊。しめう——もつとも、話すのは初めてだ。

円華はスカートのポケットに突っ込んでいたマスクを、あわてて取り出し、口元につけて尋ねる。

「武藤くんこそ、どうしてこんなところに」

「ランニング中。毎日走ってて、今日はこつちの方まで初めて来てみた」

「そうなんだ」

自主練なのかもしれない。武藤は円華の通う高校の野球部の中心的存在だ。さつき武藤にすぐに気づけなかったのは、きっと髪型のせいもある。丸刈りだった髪が休校の間に伸びたのか、今はちょっと長くなっている。

今週から再開された学校は、授業はあるけれど部活については当面休止だ。今年、③新型コロナウイルスの影響で運動部はインターハイが中止になり、県大会についても協議中のものが多い。野球部の甲子園こうしえんも、今年はどうなるかわからないとニュースでやっていった。

武藤も円華も、ともに三年生だ。高校生活最後の年がこんなふうになるなんて、二月くらいまではまったく思っていなかった。スニーカーのつま先を地面につけて足首を回しながら、武藤が円華を見た。

「佐々野さんは？何してんの？」

「あ、家がこのすぐ裏だから。ここ、昔からよく来るんだよね、ひとりになりたい時とか」

答えながら、内心ではとても驚いていた。武藤終、私の名前知ってるの？

〈中略〉

「佐々野さんは、吹奏楽部だよね？」

「あ、うん」

またちよつと驚く。名前に続き、まさか部活まで知られているなんて本当に想定外だ。

「吹奏楽部も、今年は大会みたいのはないの？」

「うん」

「そっか。——あのさ」

「うん？」

「ひよつとして、泣いてました？佐々野さん」

武藤の顔を（e）ギョウシしたまま——動けなくなる。

咄嗟とっさに思ったのは、なんで敬語？ ということだった。さっきまで普通にタメ口だったのに、急に。

④ 答えに詰まる円華の前で、武藤がさらに言った。

「さつき、そんなふうに見えたから」

気づいたとしても、面と向かってそういうことを聞くかな？　と思う。だから声をかけてくれたのか、と妙に納得はしたけど、  
気まずかった。ひとりになりたくてここに来た、なんて意味深な答え方をしてしまったことも、改めて後悔する。

「別に、吹奏楽部の最後の大会がなくなったから感傷に浸ってた、とかじゃないよ。確かに寂しいし、悔しいけど、そういうんじゃないよ」

「うん。でも、誰かに何か言われたのかなって思っほおて」

⑤ 頬が、かっほおと熱くなる。武藤の視線は曇りなく、どこまでもまっすぐだった。

(辻村深月『この夏の星を見る』より)

(※1) 曾祖父・・・ 祖父母の父。ひいおじいさん。

(※2) 天主堂・・・ カトリック教会の建物。

(※3) キリシタン・・・ 十六世紀半ば、ポルトガルやスペインの宣教師によって日本に初めて伝えられた、カトリック系のキリスト

教徒。

(※4) 鐘塔・・・ 教会などにおいて、鐘かねを収めるために独立して建てられた塔。

(※5) 意匠・・・ 物の形・色・模様などを考えること。デザイン。

問一 二重傍線部 (a) ～ (e) について、漢字は読み方をひらがなで書き、カタカナは漢字に直して書きなさい。

問二 傍線部①「涙が滲む。」とあるが、円華の目に涙が滲んだ理由を最も適切に表したものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 海辺の堤防に降り注ぐ日差しが眩しく、目を開けていることができなかったから。

イ 五島列島の中でも特に好きな場所から見ると海の景色に、強い感動を覚えたから。

ウ 新型コロナウイルスの感染拡大により、所属する吹奏楽部の活動ができなくなり、寂しさと悔しさを感じたから。

エ 今週から登校を再開した学校で嫌な出来事があり、傷ついていたから。

問三 傍線部②について、円華が天主堂の建物を特に好む理由が書かれている部分を「くから」に続くように本文中から二十三字で探し、初めと終わりの各五字を書き抜きなさい。

問四 空欄   に入る言葉として最も適切な組み合わせを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア A 高い B 柔らかい C 丸い

イ A 高い B 柔らかい C 四角い

ウ A 柔らかい B 高い C 丸い

エ A 柔らかい B 高い C 四角い

問五 二箇所空欄   には共通する漢字一字があてはまり、  が止まる「」を呑む「はともた、」物事に驚くこと」を意味する。 にあてはまる漢字一字を書いて答えなさい。

問六 傍線部③「新型コロナウイルスの影響」で中止になったものを、本文中の語句を用いて二つ書いて答えなさい。

問七 傍線部④「答えに詰まる円華の前で、武藤がさらに言った。」とあるが、円華が武藤の問いかけに答えられなかった理由を、本文中の語句を用いて三十字以内で説明しなさい。

問八 傍線部⑤「頬が、かっと熱くなる」には、円華のどのような心情が表れているか。最も適切なものを次の中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア 初めて話をした武藤に悩んでいたことの核心を突かれ、恥ずかしかったから。
- イ 武藤の視線があまりにもまっすぐで、見つめられることを恥ずかしく感じたから。
- ウ 自分のことも何も知らない武藤に分かったようなことを言われ、腹立たしかったから。
- エ 自分の知らないところで誰かに何か言われていることを知り、腹立たしく感じたから。

